

小論文では、文章を正しく読み解き、論理的に考え、適切な文章を作成することができるかを評価することを目的としています。

設問1では、「層化二段無作為抽出法」についての知識を問うのではなく、課題文の内容を理解し、この方法が用いられた理由を正しく推測できているかを評価しました。

設問2では、課題文の内容から、「30代のひきこもり」の状況がどのように変化したかを理解し、その変化を表す適切な言葉を推測することができるかを評価しました。

設問3では、課題文から、「死亡届を出したら生きていけない」理由について述べられた部分を探し出し、適切にまとめられているかを評価しました。

設問4では、課題文から8050問題について理解した上で、8050問題を解決する方法を考え、その理由とともに、適切に記述できているかを評価しました。